ご挨拶

福井県立勝山高等学校のホームページをご覧いただき、誠にありがとうございます。

本校は昭和23年（1948年）の開校以来、「ま こ と （真・誠・信） 」の校訓のもと、これまでに77年間にわたり卒業生を輩出し、本校を巣立った2万人を超える卒業生は、県内はもとより、国内外の様々な分野で活躍し、社会に貢献しております。

本校が所在する勝山の地は、恐竜化石の産出地として広く知られ、世界的な研究拠点でもあります。近年の研究により、この地が多くの生物進化の舞台であったことが明らかになっています。令和7年4月には、福井県立大学恐竜学部が開設され、令和8年度からは、この勝山において本格的な研究が進められる予定です。

また、近代以降、勝山市は繊維のまちとしても発展してきました。羽二重の伝統的な技法を受け継ぎながら、新たな技術を開発し、世界屈指のレベルへと進化させてきました。

このように「進化」を続ける勝山に位置する本校は、『進化のまちで「シンカ」する』をコンセプトとして掲げております。この「シンカ」には、「深化（深める）」、「進化（進める）」、「新化（新しくする）」、「伸化（伸びる）」の4つの意味が込められております。4つの「シンカ」を通じて、自分と社会の将来を思い描き、主体的に行動する「みらいびと」を目指しております。

この教育理念を実現するために、令和4年度から探究特進科を新設し、普通科もあわせて、探究活動に重点を置いた新たなカリキュラムを導入いたしまして、教育活動を行っております。さらに、令和6年度からは文部科学省「高等学校 DX 加速化推進事業（DX ハイスクール）」の採択校となり、デジタルなど成長分野を支える人材の育成にも力を注いでおります。

今後も、生徒と教職員が一丸となって、生徒一人ひとりの成長を支えてまいります。保護者の皆さま、地域の皆さまにおかれましては、引き続き本校への温かいご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

令和7年4月1日

福井県立勝山高等学校

校長　　青木　慎恵